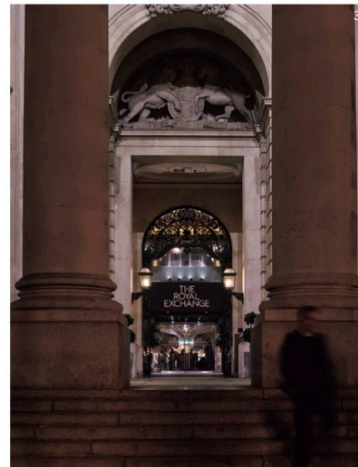
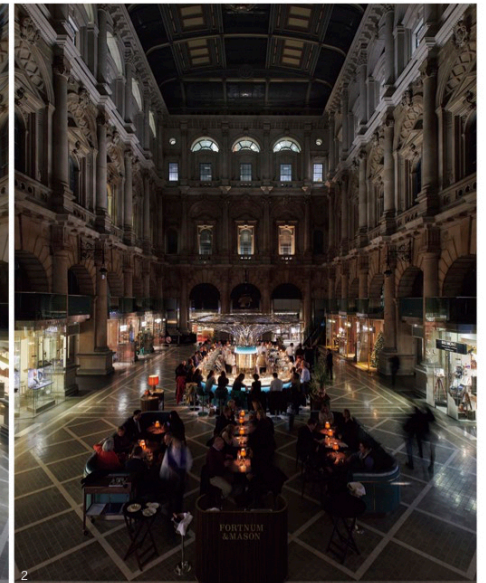
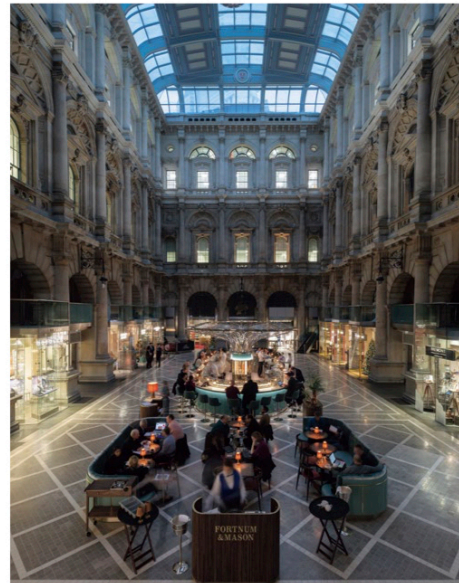




バナーに降り注ぐ日差しが刻々と変化していくことを踏まえ、昼間も自然光に委ねるのではなく、必要な光を適所に配っていた



1. 制御システムは、DALI対応のフィリップスダイナライトを採用し、日の出、日の入りの時間を組み込んだプログラムを設定している。また、スタッフによる調整を可能にしており、気候などによる変化にも柔軟に対応する
2. 夜の様子、手前のテーブル席は配線できなかったため、デスク上に用意したポータブルライトに対応している。シルク製シェードは、オリジナル
3. 「The Royal Exchange」のメインエントランスからの見え掛かりについても、ライティングが考察された。キャノピーやシグネチャーカラーのオーデニール色に装飾したサインを見せることで、ブランドイメージを伝えることを意図した
4. キャノピーの仕上げは、照明器具の設置側を艶なしに、その裏側を艶ありとした。過度な輝きを抑えることで、立体感と共にハイクラスな印象を生み出している